

今に受け継ぐ熊野の伝統。

今日に続く道程をたどる幾多の物語。

そこに息づく熊野に生きた人々の営み。

人々の息遣いが聞こえてきます。

5 きわこうざんしりょうかん 紀和鉱山資料館



昭和9年から昭和53年に至るまでの44年間、常に先駆的な技術を開発・導入し、日本の産業発展を支えてきた日本屈指の紀州鉱山の状況を知ることができます。
営業時間：9:00～17:00
休館日：月曜日、年末年始(12/29～1/3)
※月曜日が祝日の場合は開館、翌日休館

車 40分 P有 距 23km
お問い合わせ：0597-97-1000

6 こうざんせんこうじょうあと 鉱山選鉱場跡



鉱石の選鉱処理を行っていた山の斜面に建っています。総面積は2200坪、高さ75mで大きさは日本第2位、選鉱処理量は1日1000トンと建設当時は東洋一の処理量を誇っていました。

車 41分 P有 距 24km

7 たもとけんぞうせいたん ち 田本研造生誕の地



日本の近代写真技術の先駆者、田本研造は天保2年に熊野市神川町で生まれました。明治4年(1871)に「北海道開拓使専属写真師」に委嘱され、北海道開拓の貴重な記録写真を数多く残し、歴史的資料として今も高く評価されています。

車 30分 距 14km

8 すいしゃだにこうざんいせき 水車谷鉱山遺跡



中世鉱山当時の鉱山全体の状態が比較的良く保たれており、精錬用竈跡、番所跡、屋敷跡など、多くの歴史的建造物跡が残されています。銅だけでなく金や銀が産出されたことから「黄金の森」とも呼ばれていました。

車 67分 歩 20分(登り口)
距 34km

●レンタサイクル

【料 金】
電動自転車 3時間500円(1日最大1,000円)

【貸出・返却場所】

市街地エリア

- ◆熊野市観光公社(熊野市駅前)
- ◆熊野古道おもてなし館
- ◆道の駅熊野・花の窟(お綱茶屋)
- ◆世界遺産熊野古道館
- ◆鬼ヶ城センター

紀和町エリア

◆道の駅熊野・板屋九郎兵衛の里
※返却場所により、利用時間が異なります。詳しくは以下までお問い合わせください。

【お問い合わせ】

市街地エリア

熊野市観光公社
TEL:0597-89-2229



紀和町エリア

道の駅・板屋
九郎兵衛の里
TEL:0597-97-0968



●市街地周遊バス

【運行日】土日祝日:1日7便
【運賃】1日乗り放題:お1人様 200円
【バス停】

鬼ヶ城・熊野古道おもてなし館・花の窟・産田神社・山崎運動公園・熊野倶楽部(金山パイロット)・熊野市駅前・記念通り商店街・世界遺産熊野古道館・熊野古道松本峠

※乗車券をバス停近くのお店で見せいただく嬉しい特典が受けられます。

【お問い合わせ】

熊野第一交通(株) TEL 0597-85-2155



●観光タクシー

【料 金】
1～3時間コース 5,000円～15,000円
タクシー乗務員のガイドを聞きながら観光名所をめぐるります。

※予約制になります(当日も可)。料金は1台あたりの金額となります。
中型車1台当たり、4～5名様までご利用できます。

【お問い合わせ】

熊野市観光公社
TEL:0597-89-2229

熊野市観光協会
TEL:0597-89-0100



■Googleマップで見る

くまづぶのスポットをGoogleマップで確認することができます。



熊野市商工・観光スポーツ課

〒519-4392 熊野市井戸町796
TEL:0597-89-4111
<http://www.city.kumano.lg.jp>

2025.11改定



くまの旅。
めぐり歩き、
めぐりあい、



熊野
近代化遺産
めぐり

くまづぶ

熊野市文化財専門委員 花尻 薫氏・三石 学氏 監修

1 きのもと くじらくようとう 木本の鯨供養塔



明治の初め、シャチに追われた一頭の巨鯨が脇の浜に跳ね上がったことで、町に当時としては大金である1500円のお金が入りました。そのうちの500円を利用して木本小学校を建てる等、地域が多いに潤ったことから、恩に報いるために供養塔が建てられました。

車 4分 距 1.5km



2 きのもとすいどう 木本隧道

大正15年に開通した木本隧道坑門のイギリス式デザインは、両坑口とも壁柱と帯石、笠石、泊石、扁額を備える重厚な煉瓦トンネルです。壁柱のみコンクリート構造となっており、独特の凹型模様があります。土木学会の選奨土木遺産に指定されています。

車 3分 距 1.6km

3 にぎしまくじらいたいじょうあと 二木島鯨解体場跡



二木島浦は、江戸から明治、大正にかけて捕鯨が盛んであり、寛文11年(1671年)には鯨三十三本供養塔が建立されました。明治40年(1907年)には、大日本捕鯨会社等が基地を設ける等、当時の捕鯨技術を駆使して活躍していました。

車 25分 距 16km

4 なちくろいし でんとうこうげい 那智黒石と伝統工芸



那智黒石は熊野市神川町でしか産出されない黒く珍しい石です。平安時代から重宝されており、丁寧に磨けば磨くほど艶が出て美しくなります。基石や硯、アクセサリーなど製品は多岐にわたります。

車 26分 距 14km

時間、距離は熊野市駅からの片道になります。徒歩は駐車場からの時間です。

